

現実世界とメタバースとを統合内包する島宇宙群、メタ・メタバースの実現

① ビジョンの概要

メタバースは人間を時空の制約から解放する大きな力を持つ。しかし、現在はメタバース間の断絶が生じている。本構想ではメタバース世界と現実世界を島宇宙群ととらえ、それらの間の自在な移動と新たな価値の創出・交換を実現する仕組みを技術、法制度両面から追求する。これを基盤とし「それぞれの世界の価値」の相互交換による大きな経済効果と高い人生の質（QoL）を生み出しうる“メタ・メタバース”の実現を目指す。

② ビジョンの内容

メタバースとは、人類が、土地と距離という制約と保護から脱し、地球規模の情報生態系へと至る挑戦である。個人の交流と幸福追求の自由を守りつつ、閉鎖しすぎず破綻も起こさず、安定と情報流通最大化を成し遂げる必要がある。本ビジョンではメタバース世界と現実世界を共に、その内側に多くの人間を内包する島宇宙群と見做す。この島宇宙群では別の島宇宙に相互に移動する自由も、移動しないで留まる自由も保証される。島宇宙内での活動で創造された価値は、島宇宙内外を問わず、相互に別の価値あるものと交換を保証される。すなわち本ビジョンでは「それぞれの世界の価値」の相互交換による大きな経済効果と高い人生の質（QoL）を生み出しうる“メタ・メタバース”の実現を目指す。なお本ビジョンにおける「価値」とは、通貨に交換可能なものに限定されず、人が価値を見出した情報やモノ、事象すべてであり、他の人がその獲得や交換を希求しうるすべてである。以降ではこれを「有価事象」と呼称し、有価事象の交換を「価値交換」と定義する。価値交換可能な島宇宙群が形成されることで、メタバースと現実世界が対等に社会生活の一部として機能し、人々の勤労の場所あるいは生活の場所として自在に活用できる未来が実現されると期待される。

③ 学術研究構想の名称

メタ・メタバースのためのオープンアーキテクチャと AI 支援による価値交換のスキーム実現

④ 学術研究構想の概要

本構想のビジョン達成には、二つのトピックの研究が必要となる。一つは、メタバースの生成、現実世界・メタバース間ならびにメタバース間の移動、価値交換、の3点を容易に実施しうるオープンアーキテクチャの実現である。これは技術的な観点で、メタバース生成の敷居を低減、任意世界への自在なる没入を実現し、価値交換の下地を構成する。もう一つは、価値交換のスキームおよびその支援技術の実現である。ある島宇宙で創出された有価事象を他の島宇宙の有価事象と交換可能とする支援 AI を構築し、適切かつ安定な価値交換の支援を狙う。同時に島宇宙内外での紛争を低減、調停のためのルール・支援 AI 開発を行う。

⑤ 学術的な意義

本提案の学術的な意義は、メタバース間の連携を強化し、従来と異なる次世代の経済活動、価値/情報交換の実現を目指す点にある。現在のメタバース間は断絶しており、創出する有価事象は世界の外に持ち出せず、適切な交換も成立していない。これらの問題への取り組みは、新たな経済活動の枠組み・紛争解決手段の提供、圧倒的な情報インフラ整備に貢献し、いかなる人間にもさまざまな情報へのアクセスを容易にすることに繋がる。その結果、現実を含めたこれからの世界の有り様を大きく変革することになると期待される。

⑥ 国内外の研究動向と当該構想の位置付け

メタバース間の相互運用性を確保することの重要性は多くの国家や企業、関連諸団体が認識し、共有されている。本研究はメタバース間連携だけでなく、現実世界も含めた島宇宙群、世界設計のためのスキームを提示し、従来の貨幣経済とは異なる、次世代の経済活動、価値/情報交換の実現を目指している点が大きく異なる。

⑦ 社会的価値

本構想はSDGsのうち、3（すべての人に健康と福祉を）、4（質の高い教育をみんなに）、8（働きがいも経済成長も）、10（人や国の不平等をなくそう）、16（平和と公正をすべての人に）の達成に貢献する。本構想の実現は人々に、新たな創造のツール、有価事象をもたらし、知的、経済的価値獲得への貢献が期待される。

⑧ 実施計画等について

